

事業所名 グループホーム 平津

日付 平成 20年 6月 2日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 薬剤師・介護支援専門員
 介護経験歴7年

自主評価結果を見る (工事中)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評
 全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

新しい職員も入っていましたが、どの職員も笑顔で入居者に接し、上手に声かけをしていました。病院の施設を改造したグループホームですが、施設的な雰囲気にならないよう職員の工夫が随所に見られました。すべての職員が女性ということもありますが、天井から下げられているタペストリー的な布の飾りは季節ごとに色を変え、落ち着いた雰囲気を出していました。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

介護施設の中にあるグループホームのため、地域から見るとグループホームの存在がなかなか分からないようです。前回もそうでしたが地域とのつながりが見られませんでした。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	「個々の尊厳が保たれる、その人らしい、穏やかな生活を援助、家族も安心して任せられるケア」を目指しています。全体で物事を動かさず、個々に対応しています。食事の面でも昼は全員一緒に食べますが、朝夕は別々に食べています。その人のペースで生活してもらっています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	ストレスをためないよう職員は入居者に寄り添い、話を聞いています。職員は入居者にグループホームでの生活パターンを理解してもらう努力をしています。また帰宅願望があれば買い物や散歩へ出かけています。無理なときは入居者の話を聞いてあげています。		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	入居者が出来ること(大正琴、食事の下準備、ゴミだし、新聞を取りに行く)をしてもらっています。トイレに誘導するときの声かけは他の入居者に聞こえないように職員の声のトーンを下げる配慮が見られました。		

IV 運営体制

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	毎月、関連施設での勉強会をしています。新しい職員には仕事の途中で気づいたことをその都度伝えていきます。また、入居者が入浴しやすいようにリフトを入れてもらいました。		